

[普及事項]

新技術名： 促成伏せ込みアスパラガスにおける根株の圃場放置による 12 月上旬出荷技術
(平成 24~25 年)

研究機関名 農業試験場 野菜・花き部 野菜担当
担当者 篠田光江、本庄 求 他 2 名

[要約] 促成伏せ込みアスパラガスにおいて、11月上旬に根株を掘り取り、その後約10日間圃場放置、伏せ込むことで、12月上旬から収穫が可能となり、年内収量（収穫開始～12月）は慣行の約130%、規格別本数割合は慣行と同等となる。

[普及対象範囲]

県内全域

[ねらい]

促成伏せ込みアスパラガスは、冬期農業の重要な品目の一つである。促成伏せ込み作型の収量は秋期の気温に影響されるが、近年、秋期の気温が高く、掘り取りの目安となる茎葉の黄化の遅れ、低温遭遇量の不足から、掘り取り時期が遅くなってきている。しかし、掘り取り時期を遅らせると、収穫時期が遅れることから、高単価を狙える 12 月の出荷量は減少する傾向にある。一方、掘り取り後の冷蔵処理により、収量が増加することが明らかとなっているが、冷蔵庫などの設備や作業性、電気代などのコストが問題となる。そこで、冷蔵処理よりも簡易に低温処理が可能となり、12 月上旬からの出荷が可能となる方法を開発する。

[技術の内容・特徴]

1. 根株を慣行区 11 月 14 日より 9 日早い 11 月 5 日に掘り取り、そのまま圃場に 12 日間放置しその後伏せこみ床へ伏せ込み、翌日から加温を開始することで、収穫開始日は、慣行区の 12 月 20 日に対して、12 月 8 日となり、12 日早くなる（表 1）。
2. 圃場放置区の年内収量（収穫開始～12 月）は、10a あたり 292kg と慣行の 130%となり、1 シーズンの目標収量 350kg の約 80%に達する（表 2）。
3. 圃場放置区の年内収穫（収穫開始～12 月）の規格別本数割合は、L 以上割合が 52%となり、慣行の 53%と同等の品質が確保できる（表 3）。
4. 総収量（収穫開始から 2 ヶ月間）は、圃場放置区で 10 あたり 416kg と慣行の 432kg の 96%となるが、1 シーズンの目標収量 350kg は確保できる（表 4）。

[成果の活用上の留意点]

1. 12 月上旬に収穫するためには、11 月 1 日～10 日頃までに掘り取る。
2. 掘り取りの時期は、地上部の黄化や低温遭遇量に関わらず、上記の期間であればいつでも掘り取りが可能であり、計画的な作業が可能である。
3. 圃場放置の効果は、根株の促成効率（根株重あたりの可販収量）を上げるものであり、能力以上の収量は期待できないので、大株養成に努める。

[具体的なデータ等]

表 1 処理期間および収穫日

試験区	掘り取り日	圃場放置期間	伏せ込み日	床静置期間	加温開始日	加温～収穫期間	収穫開始日
圃場放置	11/5	12日	11/17	1日	11/18	20日	12/8
床静置	11/5	1日	11/6	12日	11/18	20日	12/8
即加温	11/5	-日	11/5	1日	11/6	21日	11/27
放置+静置	11/5	12日	11/17	11日	11/28	22日	12/20
慣行	11/14	0日	11/16	12日	11/28	22日	12/20

表 2 年内収量（収穫開始～12月）

試験区	可販			規格外 (g/株)	可販率 (%)	可販1本重 (g)
	(g/株)	(kg/10a)	(比率%)			
圃場放置	175	292	(132)	1.2	99	17.2
床静置	124	206	(94)	9.8	93	15.0
即加温	97	162	(73)	9.3	91	11.2
放置+静置	128	214	(97)	1.4	99	18.7
慣行	132	220	(100)	2.5	98	17.0

栽植密度; 1,667本/10a(株間40cm×畝間150cm)

表 3 規格別本数（年内収穫、収穫開始～12月）

試験区	LL		L		M		S		SS		合計本数
圃場放置	51	(16.7)	108	(35.4)	57	(18.7)	71	(23.3)	18	(5.9)	
床静置	18	(7.3)	79	(31.9)	56	(22.6)	63	(25.4)	32	(12.9)	248
即加温			39	(15.1)	64	(24.7)	105	(40.5)	51	(19.7)	259
放置+静置	51	(24.8)	72	(35.0)	32	(15.5)	38	(18.4)	13	(6.3)	206
慣行	37	(15.9)	87	(37.3)	40	(17.2)	50	(21.5)	19	(8.2)	233

数値は30株あたりの可販本数、カッコ内は合計本数に対する割合を示す

表 4 総収量（収穫開始から2ヶ月間）

試験区	月別可販収量(g/株)				総収量		収穫期間
	11月	12月	1月	2月	(g/株)	(kg/10a)	
圃場放置		175	68	7	249	416	12/8-2/8
床静置		124	65	4	193	322	12/8-2/8
即加温	11	86	15	0	112	186	11/27-1/27
放置+静置		128	118	28	274	456	12/20-2/20
慣行		132	113	14	259	432	12/20-2/20

耕種概要

- ・ 品種：ウエルカム
- ・ 播種日：2013年2月13日、鉢上げ(9cmポット)：3月11日、定植日：5月14日
- ・ 圃場放置は、掘り取り後、そのまま圃場に放置
- ・ 加温条件：りん芽部にセンサーを設置し、徐々に設定温度を上げ、最終的に18℃に設定
- ・ 施肥量(kg/a)：窒素：りん酸：カリ=2:2:2(追肥なし)
- ・ 株間40cm、畝間150cm

[発表論文等] なし